

## ～ 南あわじ市の行政評価システム ～

### ☆☆☆ 基本理念 ☆☆☆

「収入以上の支出をしない身の丈にあった行政経営」と「市民の目線に立った生産性の高い行政経営」を目指し、職員の創意・工夫を重視した事務事業の改善・改革に取り組む。

### ☆☆☆ 基本行動 ☆☆☆

業務棚卸表により、

『一般財源を把握し、収入以上の支出をしないように意識付ける。』

事務事業評価シートにより、

『事務事業を洗い直し、創意と工夫を引き出す。』

### 導入の目的

#### (1) 効率的な行財政運営

- ① 重点施策への予算の重点配分と総額抑制（身の丈にあった行政経営）
- ② 人件費・時間を含めた総コストと成果のバランスを取る。（できるだけ少ないコストでより大きな市民満足度を得る＝生産性の向上を目指す）

#### (2) 職員の意識改革

- ① 目的意識を持つ。（目標設定・誰のために、どのような意図で）
- ② コスト意識を持つ。（コストに見合ったサービスか？）
- ③ やりっぱなしではなく、見つめ直すことを意識する。（創意と工夫）
- ④ 市民や他の職員が自分の仕事を見ていることを意識する。

#### (3) 市民の立場に立った行財政運営

- ① どれだけ予算を獲得し使ったかという考え方から、どれだけ住民のためになったかという視点（成果志向）
- ② 市民ニーズを把握し、市民の満足度を向上させることは、仕事に対するやり甲斐（満足感）を得ることにつながる。（顧客志向）

#### (4) 行政の透明性の向上

- ① 一連のマネジメントサイクルを公開し、説明責任を果たす。

## 評価の流れ

### ① 業務棚卸表の作成

- ⇒ 事務事業の本来の目的を確認、事業費計画の策定
- ⇒ 評価対象事業を抽出（平成17年度事業は202事業を抽出）

### ② 一次評価

- ⇒ 出納閉鎖後、事業担当課にて作成
- ⇒ 住民に分かりやすい指標を用いて、達成度、有効性、効率性、必要性、公共性の5つの基準により評価

### ③ 二次評価

- ⇒ 討議、ヒアリングなどにより一次評価を検証、結果を一次評価者に内示

### ④ 一次評価者による修正

- ⇒ 内示に沿った形で自己評価と改善策を修正
- ⇒ 簡易なものは、随時予算要求に反映

### ⑤ 評価結果表作成

- ⇒ 一次評価の修正を確認、評価結果（案）作成

### ⑥ 住民代表等の意見の反映

- ⇒ 住民代表等による委員会で評価内容を検討して答申

### ⑦ 市長等に報告

- ⇒ 市としての意思決定

### ⑧ 予算編成、各種計画に反映、ホームページ等で公表

以上の①から⑧を実施しつつ、その都度やり方等を見直し、修正を加えながら繰り返し続けていきます。

